

株式会社システムサポート
第 43 回定時株主総会 質疑応答要旨

2022 年 9 月 27 日

於：石川県文教会館 1 階ホール

【事前のご質問】

Q1.

「経営の展望について」聞かせて欲しい。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

当社は、2022 年 8 月 10 日に中期経営計画を発表し、その中期経営計画に 3 つのテーマを記載している。1 つ目は、DX 推進に貢献するサービスの拡充。2 つ目は、多様な人材の成長と活躍。3 つ目は、ESG 経営の強化。これらを推し進め、2025 年 6 月期には売上高 218 億 9,000 万円以上、営業利益 21 億 8,000 万円以上、営業利益率 10.0%以上という業績目標の達成を目指す。

【当日の会場からのご質問】

Q1.

金沢の本社オフィスは、リファールにテナントとして入居していると思うが、システムサポートの業績からみて、50 期には自社ビルを建設したらどうか。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

金沢にあるアウトソーシングセンターは自社ビルだが、それ以外の金沢、東京、名古屋、大阪のオフィスは、交通の便利な駅前のビルにテナントを借りている。

自社ビルを持つことに経営資源を投資するよりも、現在の伸び盛りの事業に対して、より効率的に伸ばしていけるように、現在はテナントを借りている状況。未来には自社ビルを持てるような会社に成長していけるように努めたい。

Q2.

これからの IT システムは、パブリッククラウドというのがブームではなく常識になりつつある。業績は右肩上がりになっているが、それくらいの気持ちで取り組まれたらどうか。また、リスキニング（学び直し・再教育）という言葉が流行っているが、既存の社員に対してクラウド関係の仕事

に移れるようなスキルチェンジなどについて、考えはいかがか。

A2. (議長、代表取締役社長 小清水)

矢野経済研究所の調査によると、2018年～2024年までの日本におけるクラウド市場は、年平均23.1%成長の予想が出ている。当社はそのような社会情勢を受けながら、当社の一番の強みであるクラウド事業をこの3か年で年平均25%以上の成長できるように計画を掲げている。

当社はどこのメーカーにも属していない独立系のIT企業で、パブリッククラウドの多くの資格を持っており、日本国内でも上位パートナーとして位置づけられるようになってきている。なお一層、このクラウド分野を強化していきたいと考えている。

社員のスキルチェンジ、クラウド分野への人材移行については、現在会社として取り組んでいる。東京、名古屋、大阪に関しては、クラウド分野は進んでいるが、金沢はクラウドのニーズが少ないことから遅れ気味。しかし、自前でハードをもってオンプレミスでシステムを作るという時代は変わりつつあるため、お客様のクラウド利用が進むことで、金沢の部隊もスキルチェンジが実現していくと考えている。

Q3.

システムサポートの株主数の詳細が分からない。会社によっては、たとえば1000株以上保有の株主が何名など、その内訳を掲載している。そういったデータを公表してほしい。

A3. (議長、代表取締役社長 小清水)

株主数の詳細の公表について検討したい。

Q4.

システムサポートはオラクルのデータベースの管理をしているが、最近の新聞でオラクル社の業績が落ちていると書いてあった。システムサポートの減益の要因になるか。

A4. (議長、代表取締役社長 小清水)

オラクル社の業績は当社にはあまり影響はない。オラクルのデータベースには当社は強いが、最近ではオラクルのデータベースをクラウドに移すという仕事が多い。

Q5.

自己資本比率は50%以上あって高い方がいい。自己資本比率が上がるとROEは下がるが、財務の健全化は大事。ROEはシステムサポートは2桁をキープされているから、自己資本比率を上げていった方がいいと思う。成長途上の会社で投資をするため借入金はやむを得ないが、極力、財務の健全化を進めてほしい。

A5. (議長、代表取締役社長 小清水)

自己資本比率は、当社は今は 50%以下なので、改善を検討したい。また ROE は 24.5%なので問題ないと思っている。内部留保は M&A などを含めた次の投資のためにやっているところだが、そうすると自己資本比率は下がる。片方を上げると片方が下がるので、自己資本比率だけを上げるという方針でいくと攻めができにくくなっていく面もあるので、株主の皆様はタイムリーに情報公開していきたいと考えている。

Q6.

従業員数と平均給与は、他の会社はたいてい公表している。システムサポートも公表したらいいと思う。私たちが興味を持っている。

A6. (議長、代表取締役社長 小清水)

平均給与について、当社グループは上場以来 4 年間、年平均 3.8%ずつ増えている。社員の平均給与や社員数については積極的に開示に努めていきたい。

【当日のオンラインからのご質問】

Q1.

IT 技術者の人材確保が難しいと聞いていますが、システムサポートの採用状況を教えてください。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

当社グループは、2022 年 4 月に新卒は 70 名採用。また中途はこの 1 年間で 83 名採用できており、年間で合わせて 153 名を社員として採用。IT 業界は退職率が 10%以上と高いが、退職率は 4.9%まで減っている。前年は 5.9%、その前は 7.7%。2023 年 6 月期の採用は新卒は 91 名、中途は 93 名を計画している。

Q2.

役員選任について。原案では、全員が再任で、おおむね 60 代。事業の継続性・新たな発展という観点から、次世代の若い取締役候補者がいても良いと思います。次世代の役員候補者について、育成は進んでいるのでしょうか？そして、次の社長候補者についても、選任の検討はしているのでしょうか？

A2. (議長、代表取締役社長 小清水)

次世代の役員候補者は現在社内で候補者を選定し育成に取り組んでいるところ。

次の社長候補は5年以上前から何人かに絞っており、あと3～5年の間にその人材に社長になってもらえるようなスケジュールで取り組んでいる。

※内容につきましては、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正をしております。

以 上